

日本保健物理学会 2024年度シンポジウム

日程：2024年6月27日（木）、28日（金）

会場：Zoom Webinar

主催：一般社団法人日本保健物理学会

共催：一般社団法人日本放射線安全管理学会

参加費：学会員（共催学会員含む）は無料、その他は3000円



参加申し込みは<https://forms.office.com/r/rGraHWxkrt>（または上記QRコードから）
締切：6月24日（月）締切後、Zoom招待状を登録メールアドレスに送付します。

プログラム

●第1日目 6月27日（木）

10:00～10:45 専門研究会キックオフ

非破壊検査分野等におけるエックス線作業における放射線安全教育に関する専門研究会（仮）
（講演者）古渡 意彦 / 量研放医研

受動形個人線量計の空港保安検査時の線量調査に関する検討委員会新規設置のお知らせ
（講演者）牧大介 / （株）千代田テクノロ 大洗研究所

11:00～12:30

社員総会・学会賞受賞授与式

13:30～14:30

放射性廃棄物の管理・処分に係る人文・社会科学の視点からの考察に関する専門研究会 最終活動報告

本専研の目的と活動概要

（講演者）保田浩志 主査（広島大学）

高レベル放射性廃棄物処分の現状

（講演者）齋藤龍郎 幹事（JAEA）

高レベル放射性廃棄物処分における社会受容性

（講演者）土田昭司 委員（関西大学）

14:40～16:20 若手研セッション

リスクコミュニケーション

（講演者）竹田宜人（北海道大学）

暮らしの放射線Q&A

（講演者）河野 恭彦（IRPA YGN）

国際的な放射線防護に関するコミュニケーションの動向に関する情報提供

（講演者）荻野 晴之（原子力規制庁）

●第2日目 6月28日（金）

10:00～10:45 国際対応セッション

国際放射線防護委員会ICRPの最近の活動について

（講演者）安宗 貴志（日本原子力研究開発機構）

放射線被ばくに伴う次世代影響

～TG121の活動について～

（講演者）福永 久典（北海道大学）

放射線影響の分類～TG123の活動について～

（講演者）佐々木 道也（電力中央研究所）

13:00～15:00 医療被ばくセッション

我が国におけるCT検査件数とその被ばく線量の変遷

（講演者）小野孝二（東京医療保健大学）

小児CT検査の疫学調査 EPI-CTの報告

（講演者）吉永信治

（広島大学原爆放射線医科学研究所）

小児CT検査の疫学知見に関する課題

（講演者）甲斐倫明（日本文理大学）

医療従事者と患者とのコミュニケーション

（講演者）五十嵐隆元（国際医療副大学成田病院）

総合討論



一般社団法人

日本保健物理学会

問合せ先：exec.off@jhps.or.jp